

一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンス

2020年度WG活動報告書

(2020年6月～2021年5月)

2021年7月15日

☆ ガイダンス WG

(1) ワーキンググループの目的

ガイダンスワーキンググループは、CSA ジャパンが提供しているガイダンスの翻訳版を用いてクラウドセキュリティについて学ぶとともに、現ガイダンスの翻訳および訳語のレビューを行い、次期バージョンの翻訳品質の改善に向け幅広く議論し情報提供を行う。

(2) 2020年度活動計画/目標

- **Academy コンテンツインデックスの作成。**
 - 録画コンテンツの利用者にリファレンスとして提供する
- 東京電機大学クラウド講義コンテンツの汎用解説文書への展開
- ISMAP 評価基準の CCM マッピングへの参加 (CCM-WG への協力)

[2020年度活動実績]

● 活動状況

➢ [当初計画] <結果>

☆ **Academy コンテンツインデックスの作成。**

- 録画コンテンツの利用者にリファレンスとして提供する
<意義を見出して積極的に参加する者なく、見送り>

☆ **東京電機大学クラウド講義コンテンツの汎用解説文書への展開**

<講義担当者の多忙・低関心のため実現せず>

☆ **ISMAP 評価基準の CCM マッピングへの参加 (CCM-WG への協力)**

<一部メンバが参加するも成果への貢献はできず>

● 課題

- メンバの参加意識が、翻訳 アカデミー終了と共に急速に低下。
- 現状では活動を実現するだけのモチベーションも参加も得られる見込みがない。

☆ SLA-Innovation WG

(1) ワーキンググループの目的

CSAJC SLA イノベーションワーキンググループは、CSA EMEA の SLA-Ready および関連する地域連携活動に準拠して、標準化と透明性の視点から、クラウドセキュリティの SLA (Service Level Agreement) に関する基本的な調査研究を行い、潜在力のある中小企業・小規模事業者や地域のイノベーションコミュニティ向けに、クラウドサービス利用時のセキュリティ/プライバシー保護に関する啓発活動を推進することを目的とする。

(2) 2020年度活動計画/目標

- 短期には、コロナ禍を意識した「クラウドサービス利用（BCP 対策事例）と SLA」に関するブログ発信を検討
- 中長期には、「SME を対象とした欧州の政府系クラウドの取り組み動向」に関する成果物を検討
- 上記活動内容をベースに、新たにメンバー募集を働きかける

[2020 年度活動実績]

- **活動休止中**

◇ クラウドプライバシー WG

(1) ワーキンググループの目的

クラウド環境におけるプライバシーおよび個人データの保護および取り扱いに関して、グローバル及び日本の視点でガイドラインを出していくことを目的とする。CSA 本部では、PLA(Privacy Level Agreement)を公開し、EU データ保護指令や一般データ保護規則（GDPR）に基づいて、クラウド上でプライバシー・データをどのように保護し取り扱うかに対するガイドラインを示している。また、日本においては、改正個人情報保護法が 2017 年 5 月 30 日に施行され、これに基づいて個人情報をクラウド上でどのように保護し取り扱うに関する指針が必要となっている。このような状況において、CSA ジャパンとして、クラウド環境におけるプライバシーの保護および取り扱いに対して、日本及びグローバルの観点から検討を行い、情報の公開を行っていくことを目的とする。

(2) 2020 年度活動計画／目標

- 毎月 1 回定例会開催
- CoC-JP の 1 1 月完成を目指す。

[2020 年度活動実績]

- **活動状況**
 - **CoC JP の原案と素案執筆まで完了**
 - **CCM V 3 と個人情報保護法とのマッピング作成。**
- **課題**
 - **アクティブな WG メンバーとそれ以外との差が開いている。**

◇ CCM/STAR ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

CSA グローバルの Cloud Control Matrix (CCM)の日本語化について、その監修および一般への公開を行う。また、日本語版をベースに、日本の法令、標準、基準の CCM へのマッピングを行うと共に、日本における CCM の展開のための啓発活動を推進することを目的とする。日本における STAR 認証の普及を推進する。また、27017 等のクラウドセキュリティに対する STAR の位置づけを明確化するために、CSA 本部と協調して活動する。なお、本 WG は、既存の CCM WG と STAR WG を統一した。

(2) 2020 年度活動計画／目標

- **ISMAP と CCM のマッピング/リバースマッピングの完成。CSA 本部としてリリースするためのアプローチ。**

- CCM V4 で、グローバル WG との協調および日本語版作成
- STAR Continuous の日本での展開展開
- STAR 認証（特に Level-1）に対する日本のプロバイダの参画支援

[2020 年度活動実績]

- 活動状況
 - ISMAP と CCM のマッピングに取り組んだが、マッピング方針を WG 内でまとめることができず断念。マッピング作業は、その後 ISMAP タスクフォースに委ねる。
 - CCM V4 の翻訳作業を実施中。WG 以外の CSA ジャパン会員の支援を受けて実施。
- 課題
 - WG メンバーからの反応がほとんどなく、活動自体が停滞してしまっている。

◇ Blockchain ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

Blockchain ワーキンググループでは、Blockchain についてクラウド上で分散台帳を保管する際のセキュリティ要件を含めたクラウド環境の選定基準の観点から研究を行う。2017 年 1 月 17 日にスタート。

1. クラウド上で分散台帳を保管する際のセキュリティ要件を含めたクラウド環境の選定基準を研究し、ガイドラインとして取り纏め、公表する。
2. CSA 本部の BlockChain/Distributed Ledger WG（※以下、Blockchain WG）及び Internet of Things WG（※以下、IoT WG）と協調して活動する。両 WG からの情報をもとに、日本への情報提供を行う。
3. ベンダー主導のブロックチェーン／分散台帳の研究成果を CSA 本部の BlockChain WG に提案していく。

(2) 2020 年度活動計画／目標

- Blockchain Identity に関するユースケースをもとに、実際に POC 等を行う。

[2020 年度活動実績]

- 活動状況
 - 年齢確認を「Hyperledger Indy プロジェクト」を利用し、デモプログラム、ホワイトペーパーを作成。（GMO グローバルサイン・ホールディングス(株)にて）
 - ①にて作成した内容に関して、中央大学様と 2021 年 1 月 28 日にディスカッションを実施。
- 課題
 - 次のアクションを起こす時期を過ぎてしまったが、リーダーである私の本業が忙しく、WG がストップしている。
 - 次アクションをどうしていくかも課題
- 今後の方針
 - PF の準備はできているため、まずは WG を開催することを行う。

◇ CASB ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

CASB ワーキンググループは、日本における CASB の普及に向け、テクノロジーおよびビジネスへの適用方法、また、今後 CASB 上に展開(搭載)される機能について幅広く議論し情報提供を行う。また、CCM 等の管理策に対する CASB の適用方法などの研究活動も行う。

CASB の用語自体は、2014 年から 2015 年に大きく広まった。また、CSA ジャパンも、勉強会、Congress 等を通して普及に努めた。しかしながら、CASB の中味や使い方については、まだまだ広まっていないと思われる。本 WG では、この状況を打破し、真に CASB が広まることへの貢献を行っていく。

(2) 2020 年度活動計画／目標

- CASB の対応領域と SASE の対応領域を整理
- データセキュリティ WG のアウトプットと連携した、CASB の対応領域整理

[2020 年度活動実績]

- 活動状況
 - CASB の普及については一定の認知度に達しているため、現在は枠を広げて CSPM/CWPP/SSPM に関連した情報交換・活動方針のディスカッションを月 1 回程度実施
 - チームでの活動ではないが、MKI の橋本様による CASB 関連のブログを 2 本掲載
 - ◇ 「認証基盤のモダン化と CASB の Value」 2020/11/9
 - ◇ 「SASE の登場とゼロトラストを実現する CASB のカバレッジ」 2021/2/20
- 課題
 - 定例会への参加が特定メンバー (2~3 名程度) で少なく、活発な情報交換が行えていないまた、ブログ以外の WG からのアウトプットの不足
- 今後の方針
 - CSPM/CWPP/SSPM など CASB を含めたクラウドセキュリティ全体の認知度向上と普及率向上に向けた情報発信の強化と WG 内での情報共有を継続する。

◇ IoT クラウドサービスワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

IoT (もしくは M2M)、とりわけスマート家電などに対して、クラウドから提供される各種サービスへの脅威とその対策について検討、提言を行う。

(2) 2020 年度活動計画／目標

- 活動計画を検討中

[2020 年度活動実績]

- 活動状況
 - WG リーダーの二木さんが諸々の事情によりリーダーを退任。事務局 諸角が、暫定リーダーとして活動を継続した。
 - 以下、2 つの資料の翻訳および日本語版公開を実施
 - ◇ CSA IoT セキュリティ コントロールフレームワーク 利用ガイド バージョン 2
 - ◇ CSA IoT セキュリティ コントロールフレームワーク バージョン 2
- 課題

特になし

◇ 健康医療情報管理ユーザーワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

CSA・JC 健康医療情報管理ユーザーワーキンググループは、CSA グローバルの Health Information Management Working Group の活動に準拠して、患者／生活者中心の視点から、健康医療分野のクラウド利用に係るセキュリティ／プライバシー保護を支援するための基本的な調査研究を提供し、エンドユーザー向けのクラウドセキュリティに関する啓発活動を推進することを目的とする。具体的な活動に際しては、一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンスにおける各ワーキンググループおよびその他のイニシアティブとの連携を図るものとする。

(2) 2020 年度活動計画／目標

➤ 国内活動

- ライフサイエンス／医薬品／医療機器産業、医療機関／介護施設／健康増進サービス事業者、患者／消費者を含む健康医療情報バリューチェーン全体における CSA ガイダンス、CCM、STAR 認証、医療機器／遠隔医療セキュリティガイダンス、IoT セキュリティガイダンス、アプリケーションコンテナ／マイクロサービスガイダンス等の有効活用の推進活動
- CSA のワーキンググループが主導する CSA ガイダンス、CCM およびその他発行情書類（例、IoT セキュリティガイダンス）に関する、業界の視点に立ったピアレビューの実施およびフィードバックの提供
- 健康医療情報に関わる国内外の主要なステークホルダーコミュニティ（例、フォーカスグループ、業界団体、研究機関、フォーラム、学術団体など）との積極的な協業活動
- 上記に関する周知、認知、研究の機会を計画／実行するために、関東分科会および関西分科会を設置するとともに、オンラインツールを活用する

➤ グローバル活動

- CSA HIM-WG のグローバル活動への積極的コミットメント
- CSA 海外チャプターとの連携活動強化（例：中国、東南アジア、インド、EMEA）

[2020 年度活動実績]

● 国内活動

特になし

● グローバル活動

➤ 成果物

- ◇ 「Healthcare Big Data in the Cloud」(2020 年 7 月 21 日発行)
- ◇ 「Telehealth Data in the Cloud」(2020 年 6 月 16 日発行)
- ◇ 「Telehealth Risk Management」(2021 年 6 月 3 日発行予定)
- ◇ 「Protecting the Privacy of Healthcare Data in the Cloud」(公開ピアレビュー中：2021 年 6 月 4 日まで)
- ◇ 「Information Technology Governance, Risk and Compliance in Healthcare」(内部最終レビュー中)
- ◇ 「The Use of Blockchain in Healthcare」(内部最終レビュー中)
- ◇ 「Ransomware in the Healthcare Industry」(ドラフト作成中)
- CSA Health Information Management WG call ミーティング実績：年間 17 回開催
 - ◇ 2021 年 5 月 27 日 (木) 3:30am～4:30am・2021 年 5 月 13 日 (木) 3:30am～4:30am

- ◇ 2021年4月29日(木) 3:30am~4:30am・2021年4月15日(木) 3:30am~4:30am
- ◇ 2021年4月1日(木) 3:30am~4:30am・2021年3月17日(木) 4:30am~5:30am
- ◇ 2021年3月4日(木) 4:30am~5:30am・2021年2月18日(木) 4:30am~5:30am
- ◇ 2021年2月4日(木) 4:30am~5:30am・2021年1月21日(木) 4:30am~5:30am
- ◇ 2020年12月9日(木) 4:30pm~5:30pm・2020年10月29日(木) 3:30am~4:30am
- ◇ 2020年9月3日(木) 3:30am~4:30am
- ◇ 2020年8月6日(木) 3:30am~4:30am
- ◇ 2020年7月23日(木) 3:30am~4:30am
- ◇ 2020年7月9日(木) 3:30am~4:30am
- ◇ 2020年6月25日(木) 3:30am~4:30am
- ◇ 2020年6月11日(木) 3:30am~4:30am

● 課題

本年度は、グローバルレベルに絞って活動を実施した

◇ ビッグデータユーザーワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

CSA-JC ビッグデータユーザーワーキンググループは、CSA グローバルの Big Data Working Group の活動に準拠して、データ中心の視点から、エンドユーザー向けに、ビッグデータにおけるセキュリティ/プライバシー保護を支援するための基本的な調査研究を提供し、ビッグデータ環境のクラウドセキュリティに関する啓発活動を推進することを目的とする。具体的な活動に際しては、一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンスにおける各ワーキンググループおよびその他のイニシアティブとの連携を図るものとする。

(2) 2020年度活動計画/目標

- 活動休止

[2020年度活動実績]

- 活動休止中

◇ クラウドセキュリティワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

クラウドセキュリティ WG は、CSA ジャパンにおける他のワーキンググループが扱わない事項や、マクロなクラウドセキュリティについて等を題材にし、世に有効に活用できる情報を発信する。

(2) 2020年度活動計画/目標

- DevSecOps に関するドキュメンテーションの完了 (2020年6月中に公開)
- CCSK に関するオンラインセミナー (2020年7月以降で検討)
- 新テーマの協議とそのドキュメンテーション (2020年6月開始)

[2020 年度活動実績]

- **DevSecOps** におけるユースケースの作成を実施
 - ドキュメントはドラフトを作成完了済。まもなく公開予定。

◇ モバイルユーザーワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

CSA-JC モバイルユーザーワーキンググループは、CSA グローバルの Mobile Working Group の活動に準じて、クラウド中心の視点から、エンドユーザー向けにセキュアなモバイルデバイスコンピューティングを支援するための基本的な調査研究を提供し、モバイル環境のクラウドセキュリティに関する啓発活動を推進することを目的とする。具体的な活動に際しては、一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンスにおける各ワーキンググループおよびその他のイニシアティブとの連携を図るものとする。

(2) 2020 年度活動計画／目標

- 活動休止

[2020 年度活動実績]

- **活動休止中**

◇ SDP ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

SDP ワーキンググループは、日本における SDP の普及に向け、テクノロジーおよびビジネスへの適用について幅広く議論し情報提供を行う。

(2) 2020 年度活動計画／目標

- 継続して SDP の日本市場における認知度向上の取り組みを行う
- CSA 本部の出版物の翻訳、公開を進める

[2020 年度活動実績]

- **活動状況**
 - CSA 本部が公開している以下 2 点の資料を翻訳および公開
 - 「Infrastructure as a Service のための Software Defined Perimeter」: 「Software Defined Perimeter for Infrastructure as a Service」の日本語版
 - 「SDP による真のゼロトラスト実装」: 「Software Defined Perimeter (SDP) and Zero Trust」の日本語版
 - Waverley Labs が公開している SDP サンプルソースを用いて、AWS 上に環境を構築。SDP の理解、様々な利用ができるようにした。
- **課題**
特になし

◇ アプリケーションコンテナ&マイクロサービス・ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

アプリケーションコンテナおよびマイクロサービスのセキュリティに関する基本的な調査研究

を行い、セキュアなアプリケーションコンテナおよびマイクロサービス利用のためのガイダンスやベストプラクティスを発行するとともに、アプリケーションコンテナおよびマイクロサービスのセキュリティに関する啓発活動を行うことを目的とする。

(2) 2020 年度活動計画／目標

● 国内活動

- アプリケーションコンテナ&マイクロサービス (ACM) ワーキンググループは、アプリケーションコンテナおよびマイクロサービスのセキュリティに関する基本的な調査研究を行い、セキュアなアプリケーションコンテナおよびマイクロサービス利用のためのガイダンスやベストプラクティスを発行するとともに、アプリケーションコンテナおよびマイクロサービスのセキュリティに関する啓発活動を行うことを目的とする。
 - 本ワーキンググループは、日本クラウドセキュリティアライアンスのインディビジュアル／コーポレート／アフィリエイトメンバーからのボランティアによって構成される。
 - 本ワーキンググループは、運営委員会および共同座長の下で、主要なプロジェクトマネジメント、オンラインワークプレイス、テクニカルライティング支援、日本クラウドセキュリティアライアンス理事会への報告をコーディネートする。
 - これらに関連する周知、認知、研究の機会を計画／実行するために、関東分科会および関西分科会を設置する。
 - 健康医療情報管理ユーザーWG、データセキュリティ WG 等、他の WG との連携活動を強化する。
- ### ● グローバル活動
- CSAACM-WG のグローバル活動への積極的コミットメント
 - Health Information Management WG、IoT EG、DevOps WG 等、コンテナ／マイクロサービスを共通基盤とする他の WG との連携活動強化
 - CSA 海外チャプターとの連携活動強化 (例：中国、東南アジア、インド、EMEA)

[2020 年度活動実績]

● 国内活動

- 成果物：プレゼンテーション公開資料 (PowerPoint)
 - ◇ 2021 年 3 月 31 日 (水) 「コンテナ／マイクロサービス／サーバーレスのセキュリティと監査」 (ISACA 東京支部 2021 年 3 月例会オンラインセミナー)
 - ◇ 2020 年 12 月 10 日 (木) 「アーキテクトが主導するコンテナ／マイクロサービス／サーバーレスのセキュリティ」 (ITmedia Security Week 2020 冬)
 - ◇ 2020 年 12 月 8 日 (火) 「DX で加速するコンテナ／マイクロサービス／サーバーレス導入とセキュリティ」 (ZDNet Japan Security Trend 2020 Winter)
 - ◇ 2020 年 11 月 18 日 (水) 「エッジコンピューティング環境におけるアプリケーションコンテナ／マイクロサービスのセキュリティ／リスク管理」 (ET & IoT Digital 2020)
 - ◇ 2020 年 10 月 7 日 (水) 「API エコノミーを支えるマイクロサービスのセキュリティ」 (Security Days Fall 2020) ・ 2020 年 9 月 24 日 (木) 「Impact of COVID-19 on Cloud Adoption & Security」 (CSA India Virtual Summit 2020)

- ◇ 2020年6月15日(月)「NIST SP 800-240A サービス・メッシュ・アーキテクチャを利用したセキュアなマイクロサービス・ベース・アプリケーション構築の概説」(Kansai Cloud DevSec Meetup 用勉強会資料)

- グローバル活動[Application Containers & Microservices WG]

- 成果物

- ◇ 「Microservices Architecture Pattern (MAP)」(2021年夏公開予定)

- ミーティング実績:年間19回開催

- ◇ 2021年5月7日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2021年4月23日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2021年4月8日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2021年3月12日(金) 03:00am - 04:00am
- ◇ 2021年2月25日(金) 03:00am - 04:00am
- ◇ 2021年2月19日(金) 03:00am - 04:00am
- ◇ 2021年2月12日(金) 03:00am - 04:00am
- ◇ 2021年1月29日(金) 03:00am - 04:00am
- ◇ 2021年1月15日(金) 03:00am - 04:00am
- ◇ 2020年12月18日(金) 03:00am - 04:00am
- ◇ 2020年11月6日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2020年10月23日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2020年9月25日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2020年9月11日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2020年8月28日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2020年7月18日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2020年7月3日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2020年6月19日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2020年6月5日(金) 02:00am - 03:00am

- グローバル活動[Serverless WG]

- 成果物

- ◇ 「Serverless Computing Security in 2021」(公開ピアレビュー中、2021年6月13日まで)

- ミーティング実績:年間19回開催

- ◇ 2021年3月12日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2021年2月26日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2021年2月19日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2021年2月6日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2021年1月29日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2021年1月15日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2020年12月18日(金) 02:00am - 03:00am
- ◇ 2020年10月23日(金) 01:00am - 02:00am
- ◇ 2020年9月25日(金) 01:00am - 02:00am
- ◇ 2020年8月21日(金) 01:00am - 02:00am
- ◇ 2020年7月31日(金) 01:00am - 02:00am
- ◇ 2020年7月10日(金) 01:00am - 02:00am

- ◇ 2020年7月3日(金) 01:00am - 02:00am
- ◇ 2020年6月27日(金) 01:00am - 02:00am
- ◇ 2020年6月19日(金) 01:00am - 02:00am
- ◇ 2020年6月12日(金) 01:00am - 02:00am
- ◇ 2020年6月12日(金) 01:00am - 02:00am
- ◇ 2020年6月5日(金) 01:00am - 02:00am

● 課題

- グローバルレベルでは、Application Containers & MicroservicesWG、Serverless WGとも、定期的なミーティングや、ドキュメント作成活動を積極的に行っており、日本側がキャッチアップするために、相当の労力と時間がかかるのが現状である。
- 国内レベルでは、新型コロナウイルス感染症緊急対応の影響で、リアルの場における勉強会が中断状態の反面、国内メディアのオンラインイベントに露出する機会が急増した。聴講者についてみると、従来は開発者が主流だったが、デジタルトランスフォーメーション(DX)の本格化とともに、エンタープライズのクラウドユーザー/コンシューマー(IT部門および非IT部門)が徐々に増えつつある。

◇ ICS ワーキンググループ (CSA 本部 WG)

(1) 2020年度活動計画/目標

- 活動休止

[2020年度活動実績]

- 活動休止

◇ SDN ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

SDN ワーキンググループは、SDN を技術的に解説し、SDN のクラウドへの利用方法および優位性を解説し、ガイダンスでは理解しきれない点をカバーしていくことで、ガイダンスに関する SDN の解説書的な位置づけとなるようなアウトプットの作成を目指して活動していく。

(2) 2020年度活動計画/目標

- SDN 解説書の有効活用
 - 講演、講義、勉強会
 - SDP と SDN (SD-WAN) を絡めた技術ドキュメント作成や勉強会の開催
- 関連技術の継続キャッチアップ
 - SD-WAN (セキュリティについてを深堀してみる、メーカーとか交えて)
 - NFV
 - Intent-Based Networking

[2020年度活動実績]

- 活動状況

- 2020年5月に発効した「SDN利用ガイダンス(V1.0)」の周知も兼ねて2020/7/14第65回CSA勉強会「SDNのさらなる理解とこれから」にて発表
- WGミーティングにて勉強会を実施
 - ◇ 7月：SASE、9月：SDP、10月：Zscaler
- CASB-WGとの合同ミーティング開催（10月）意見交換：今後の活動の方向性についてディスカッション
- 課題
 - SDNという広い分野のテーマの中、SDNガイダンスの作成後の次の活動方針を模索してきたが定まっていない。
 - 10月以降の活動が停滞してしまった

◇ データセキュリティ ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

クラウド上のデータ保護として、アクセス管理、暗号化、鍵管理、モニタリング等の推奨事項が記載されているが、プロバイダのデータ保護対策の内容の把握、利用者側で取るべき対策、プロバイダが提供するデータ保護の機能の利用など、具体的な対応方法をガイダンスから読み解くことが難しい状況である。データセキュリティWGでは、このような課題に対してよりわかりやすい技術的な解説を行い、ガイダンスのデータ保護に関する解説書的な位置づけとなるようなアウトプットの作成を目指す。

(2) 2020年度活動計画／目標

- クラウド環境でのデータ保護のフォーカスエリアを確定
- フォーカスエリアごとに、ガイダンスの解説を作成。解説資料を公開する

[2020年度活動実績]

- クラウド・データプロテクションガイドの作成中。まもなく公開予定。
- 月1回の活動で12回会議を実施。アウトプットドキュメントをまとめるという目標が明確なために順調に推移した。

◇ ISMAP タスクフォース (NEW)

(1) ワーキンググループの目的

CCMとISMAPのマッピングおよびリバースマッピングを行うためのスペシャル・タスクフォースとして実施する。

(2) 2020年度活動計画／目標

- CCMとISMAPのマッピングおよびリバースマッピングを行うためのスペシャル・タスクフォースとして実施する。

[2020年度活動実績]

- 活動状況
 - 開催率 66%：2021年2月から8月までで9回の開催を計画し内6回済み。
 - 参加率 77%：13人が登録、その内5人から10人が各自の宿題毎に参加中。
 - 進捗率 100%：現在133条項の内133条項が終了、誤字脱字を整理し今夏リリース。

- 作業の概要は、CCM_v3 の管理策 133 について、ISMAP のマッピングが正しいか全項目を議論し、追加/削除/変更などの意見を確定し進めている。
- 課題
 - CCM_v3 管理策のオリジナルは、想定以上に間違いや、抜け漏れが多かった。CSA-JP として、リリース前にどこまで訂正すべきかの、判断が必要である。
 - WG を再開時に、次のバージョン CCM_v4 がアナウンスされた。CSA-JP として、今夏以降に 3 度目の WG 設立の、判断が必要である。

◇ RPA 検討会

(3) 検討会の目的

RPA について、クラウドセキュリティの観点から調査・研究を行う。

(4) 2020 年度活動計画／目標

- 勉強会で「RPA リスクシナリオに基づくユースケース」を解説
- ユースケース毎に「ユースケース拡張時のガイドライン」などをテーマに検討会を継続
- アフターコロナにおける RPA の利用について、運用・管理の課題の検討を実施
- Power Apps によるユースケース、課題点の検討を実施

[2020 年度活動実績]

- 活動無し

以上